

宮私幼だより

No. 125
 社団法人 宮城県私立幼稚園連合会
 〒980-0803
 仙台市青葉区国分町三丁目6-12
 佐正凱洋ビル6F
 TEL 022-263-7040 FAX 263-7925
<http://www.miyashiyo.or.jp/>
 編集・発行人
 理事長 村山 十五



事務局だより

○関係機関団体

5月8日 私立幼稚園等新規採用教員研修会(県と共催・県庁講堂)

5月11日 平成19年度仙私幼総会(旭ヶ丘市民センター)

5月25日 私立幼稚園振興対策協議会総会(大和証券ビル4F)

6月4日 宮私幼PTA連総会(宮城県民会館)

7月9日 幼稚園長等研修会(県主催)

○全日私幼連

4月25日 全日常任理事会

5月9日 常任会

5月23日 全日私幼連平成19年度定時総会(東京)

6月22日 全日私幼連東北地区会監査(岩手)

6月29日 東北地区会第15回私立幼稚園設置者・園長研修会(仙台ガーデンパレス)

6月30日 平成19年度第1回東北地区会(仙台ガーデンパレス)

7月3日 (財)全日私幼幼児教育研究機構主催「子育て支援フォーラム」(東京)

7月4日 全日私幼連常任理事会(東京)

7月10日 東北地区会教育振興協議会(盛岡)

○宮私幼のあゆみ

4月18日 研究委員会

4月26日 総務給付委員会・常任理事会合同会議

5月7日 総務給付委員会・常任理事会合同会議

巻頭言



宮私幼理事長 村山 十五

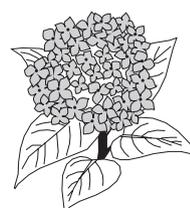
夏休みに入り、ほっと一息ついた園長先生も多いことと思います。

さて、7月16日に発生した、新潟県中越沖地震は他人事ですまされない災害であり、新潟県連に電話で聞いたところ、柏崎の幼稚園では、ピアノやロッカーが倒れ、保育中だったら、混乱して、多数の負傷者が出たのではないかとのことでした。各園におかれましては、地震発生時の対応について、再確認するとともに、万全の体制を整えていただきたく、お願い申し上げます。

6月に、学校教育法等が改正され、幼稚園関係では、①学校種の規定順で最初に幼稚園が規定されました。②幼稚園の目的が、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして行うことに変更になりました。③預かり保育も通常の保育と同様、指導計画が必要になりました。④園長の下に、副園長、主幹教諭、指導教諭をおくことが出来るようになりました。⑤幼稚園の評価を自ら行い、保護者に情報提供することが明記されました。⑥教員免許更新制が導入されました。詳しくは、法令集や参考文献をご覧ください。夏休みに入り、先生方の研修会が多く開催されます。今年度から、上記の免許法改正に

鑑み、研修会に参加された先生方に受講票（修了証）を発行いたします。今後、先生方の研修履歴が補助金の傾斜配分に影響することが予想されますので、時間の許す範囲で、参加していただきたく、お願い申し上げます。詳しくは、各地区の園長会議で説明させていただきます。なお、園長会議では、来年度の園児募集やその他の話題もありますので、出来る限り、ご出席下さい。

認定こども園を取得した関係もあり、我が園への視察も相変わらず多く、入園希望者用のパンフレットが肝心の希望者ではなく、視察関係者に配布する事が多く、不足するという珍事がおきております。現在、1歳児2名に保育士が2名、採算度外視の状態です。



以上7月20日まで

6月23日	ふじ幼稚園創立30周年 園舎改築記念式典	○慶弔	7月17日	理事会	7月12日	研究委員会	7月11日	総務・給付委員会	7月10日	会 広報委員会・経営委員	6月28日	幼稚園 広報委員会取材…ふじ 修大会(宮城県民会館)	6月19日	平成19年度宮城県私立 幼稚園教育振興大会・ 第36回宮私幼PTA研 修大会(宮城県民会館)	6月13日	担当者連絡会議	6月8日	研究会 研究会委員会・地区研修 委員会	5月30日	研究委員会	5月25日	平成19年度第1回総会 (大和証券ビル4F)	5月14日	広報委員会 理事会・経営委員会・	5月11日	決算監査会	(1頁の続き)
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-------	-------	-------	----------	-------	-----------------	-------	----------------------------------	-------	---	-------	---------	------	---------------------------	-------	-------	-------	---------------------------	-------	---------------------	-------	-------	---------

スポットニュース

教育改革3法が成立 教員免許に更新制度

教員免許更新制の導入などを盛り込んだ政府の教育改革関連三法が6月20日夕の参院本会議で与党の自民、公明両党などの賛成多数で可決、成立した。野党は反対した。

政府は今後、2007年度内の学習指導要領改定に向けた作業を本格化。いじめ自殺や必修科目未履修問題をめぐり批判が相次いだ教育委員会の改革、公共の精神や規範意識の養成を重視する学校教育への移行などを加速させる考えだ。

昨年末に約60年ぶりに改正された教育基本法に続き、教育現場に直接的な影響を与える学校教育法など関連三法の改正で、安倍晋三首相は「戦後レジーム（体制）からの脱却」の一環として最重要課題に掲げる「教育再生」

につながると判断している。

ただ、首相はこれまでの審議で与野党双方から要望が強かった教育関連予算や教職員定数の拡充に関して明確な方針を示しておらず、有識者からは教育の管理・統制強化の懸念が示された。免許更新制に対しても実効性への疑念や教員を委縮させる危険性を指摘する声は根強く、改革の具体的な効果は不明だ。

改正された関連三法のうち、学校教育法は義務教育の目標として「公共の精神」「我が国と郷土を愛する態度を養う」と明記。小中学校に組織運営強化のため「副校長」「主幹教諭」などを新設し、学校評価を行うことも定めた。

地方教育行政法は教育委員会に対する文部科学相の是正指示、要求権を規定。教員免許法および教育公務員特例法では、10年ごとの免許更新制導入と30時間以上の更新講習受講を義務付けた。



Close・up 理事会

平成19年度宮私幼理事会の概要

日 時 5月14日（月）午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 題

- (1) 平成19年度第1回通常総会の議案について
 - ① 第1号議案 平成18年度事業報告について
 - ② 第2号議案 平成18年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について
- (2) 東北地区設置者・園長研修会の役割分担について
- (3) 報告事項
 - ① 平成19年度第1回通常総会の議長、議事録署名人及び司会について

日 時 7月17日（火）午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 題

- (1) 宮私幼会費の見直しについて
- (2) 利府おおぞら保育園の加入について
- (3) 平成19年度地区別設置者・園長会議の出席者について
- (4) 平成19年度地区別設置者・園長会議の資料について

その他

- (1) 養成校との懇談会の開催について
- (2) 共済年金記録における基礎年金番号未統合の件について
- (3) 「新潟県中越沖地震」義援金について
- (4) 各委員会の活動状況について

※平成19年度地区別設置者・園長会議

- ・名取・岩沼：7/27
- ・気仙沼・登米：7/31
- ・大崎：8/1 ・塩釜・多賀城：8/2
- ・仙南：8/3 ・石巻：8/7
- ・仙台：8/9

平成19年度 全日本私立幼稚園連合会東北地区会 第15回私立幼稚園設置者・園長研修会（宮城大会）

テーマ「新しい時代の幼稚園をめざして」

〈平成19年 6月29日 仙台ガーデンパレス〉



15回目となる本会は、東北各地から約200名が参加して盛会に開催されました。

開会式では開会の言葉に続いて、担当県の村山十五宮私幼理事長、東北地区会山折昭和麿会長のご挨拶があり、ご来賓として宮城県知事村井嘉浩宮城県知事の祝辞を総務部佐藤富夫副参事に代読していただき、さらに、渥美巖宮私幼PTA会長からご祝辞を頂戴しました。いずれの方々も、幼稚園を取り巻く環境は少子化と財政難による厳しい状況を訴えられ、それぞれの立場で未来を担う子供たちのために尽力されることを約束されました。同時にこのような時期に本会研修会が開催されることの意義は時宜を得たものと評価されました。来賓紹介、閉会の言葉の後、梶田叡一先生の記念講演に移りました（要旨参照）。昼食をはさんで第1分科会（教育）、第2分科会（振興）、第3分科会（経営）



に分かれて研究協議がなされました。再び全体会に移り、各分科会の司会者の先生方から報告していただきました。

懇親会では約60名の設置者・園長先生が参加され、村山宮私幼理事長挨拶、全日私幼専務理事富永栄一先生の乾杯の音頭で和やかに始まりました。それぞれ自己紹介や情報交換、公式には聞けない文科省大谷圭介氏からのお話等懇親会ならではの打ち解けた会となりました。

《記念講演》

演題 「これからの幼児教育」

講師 文学博士 梶田 叡 一 先生
(聖ウルスラ学院理事長)



少子化がどんどん進行しています。高邁な理念だけでは園児が集まりません。幼稚園はいかにすれば子供が来てくれるかを常に考えながら経営していかなければならない時代です。公立は整理・統合または私立への運営移行が進んでいます。私立は東京や大阪では廃園に追い込まれる園が増えています。そのような波に呑み込まれないように「うちの園」ではという特長を出していかなければなりません。但し、どこの幼稚園にも共通する一番の宣伝媒体は、“園児”です。園児が毎日喜んで幼稚園に行き、「あ～よかったあ！楽しかったあ～！」と言って帰ってく

る、この姿を見て保護者は「あ～、この幼稚園に入れてよかった!」となり、周りに口コミで広がっていくわけです。これが最大の宣伝媒体です。これを実現していかなければ、どうにもならなくなる。家庭での子供にかけるお金は、優先順位がトップなんです。公立であろうと私立であろうとこの図式は変わりません。

園長・設置者にとって大切なことは、情報のアンテナを張り巡らすことです。それも正確な情報を選別できなければなりません。保育の中身(要綱)を決めるのは、中央教育審議会の教育課程部会です。今、マスコミではさまざまな教育改革に関わる報道がなされていますが、それに振り回されないようにして下さい。

今幼稚園において重視してほしいのは、第一に基本的な生活習慣(しつけ)です。適切な環境設定を心掛けながら、特に危険と人権に関わることはしっかりと教えてほしい。いじめの芽は幼児期に既に見られます。3・4人の子どもが一人を囲んで「○○ちゃんとは、あそばな～い!」とかいう場面を見つけたら、教師は傍観せずに適切に注意してあげてほしい。小中学校でのいじめをなくす要因ともなります。善悪の区別を教えるのが大切です。本人が気づくまで待つというのは、いわば青臭い(素人)考えで、危険と人権に関わることは、顔色を変えて指導してほしい。第二は、言葉の問題です。まずは他人の話を聞けるようになること。次は読み書きです。小学校入学前に、ひらがなを読んだり書いたり出来るくらいにしてほしいと思います。

幼児教育の根幹である、環境を適切に設定し、その年齢段階に応じた体験を数多く経験することは“不易”であります。幼稚園でなければ体験できないことをどんどん取り入れていってほしい。そして、子供たちの“気づき”にきちんと応答できるように教師の質を高めていってほしい。それには、研修を重ねなければなりません。

最後に、教育基本法第11条にも幼稚園がしっかりと位置付けされ新たな展開が予想されますが、「今日一日の保育が子供たちにとって充実していたか。」という当たり前のことの積み重ねが大切だということを訴えて本日の講演と致します。

分科会

第1分科会 教育 「認定こども園について」

昨年10月、法律が施行され、平成19年3月末現在、全国で13園(私立8園)が認定こども



園に認定されている。果たして、この法律の趣旨が、国民にどのように理解されているのだろうか。とりわけ、働きながら子育てをしている母親にとって、どのようなメリットがあるのかをいろいろの観点から検討した。

第2分科会 振興 「市町村対策について」

就園奨励費補助金を始めとし、市町村が私立幼稚園に対して、さまざまな形で助成金を



交付しているところが多くなってきている。その実態を踏まえ、今後の私立幼稚園がとるべき、市町村対策について考えてみた。

第3分科会 経営

「自己評価・外部評価について」

学校の自己評価が定着しつつある。これを受けて、私立幼稚園も自己評価、外部評価に



ついて検討を余儀なくされている。すでに、試行している幼稚園もあるが、時代の変化に対応した幼稚園経営はどうあるべきかも含めて考えた。

平成19年度宮城県私立幼稚園教育振興大会

大会テーマ「生きる力を育むために」～子育ては、家庭と地域と幼稚園～

(平成19年 6月19日(火)10:30～12:30 宮城県民会館大ホール)

今年度も宮城県民会館に於いて、溢れんばかりの保護者の皆さんが参加し盛大に行われました。

第1部の振興大会では、村山宮私幼理事長より、最新の出生率は僅かながら上昇しているが、少子化傾向は続いております。県内では、私立幼稚園へ約8割在籍しておりますが、ここ数年減少しており、厳しい環境にある私立幼稚園ですが、子どもたちの幸せを願って、お母さま方と手を取り合って頑張っていくことが大事だと考えています。

宮城県も財政が厳しい中ではありますが、昨年も私立幼稚園に対する運営費補助金を同額戴き、感謝をいたしておりますが、引き続き更なる援助をお願いするところであります。今年度も認定こども園が1園誕生し、幼稚園と保育所の垣根が低くなりましたが、依然として幼稚園と保育所の公的補助金の格差が二倍程ございます。私ども私立幼稚園は子どもたちの健やかな成長を願い、思いやりの心を持った人間を育てたいと頑張っておりますのでご来賓の先生方には今後とも私立幼稚園の振興にご協力をいただけますようお願いいたします。と挨拶があった。

続いて、渥美宮私幼PTA連会長から、今年の大きな運動方針の柱を3つたてた、一つ目は、すべての子どものために良い環境を作ろう、2つ目は良い親、良い教師になる為に教育研修を深めよう、3つ目は保護者の負担軽減の為に更に努力しよう、ということでございます。特に



3つ目の保護者の負担軽減は、公立幼稚園や保育所と私たち私立幼稚園に対する公的補助の格差が大変大きくなっております。全国組織と一体となって、国会議員の先生方に予算確保をお願いしたり、宮私幼と一緒に村井知事に予算の増額運動を行っておるところです。県は財政が厳しく、対前年度比で-2.0%と厳しいですが、幼稚園関係の特に運営費補助については、3.8%の増額をいただいております。しかし、全国的な順位は、まだまだ下位にあまみじており、是非、来年度予算要求についても皆さんと共にお願いしたいと挨拶があった。

大会宣言

私たち、宮城県私立幼稚園連合会と同PTA連合会は、子どもたちのすこやかな成長・発達・安全のため、地域社会と連携し、家庭・幼稚園がそれぞれの役割を自覚し、また研修に励みそのつとめを果たします。

そのためには安心して子育てができる環境が必要であり、次のことを宣言します。

1. 私立幼稚園は、地域社会及び家庭と連携し、幼児一人ひとりの自立への歩みを進め、適切な環境での体験と、人とのかかわりの中で「生きる力」の基礎を育みます。

また、豊かな感性、他人を思いやる心、基本的生活習慣の形成などの「心の教育」に努めます。

2. より豊かで充実した幼児教育振興のためには、教育に専念できる経営上の安定が必要です。そのためには、私立幼稚園への公的助成が一層充実されることが不可欠です。

同時に、幼児の就園に伴う保護者の経済的負担を軽減するために、就園奨励費の増額、適用範囲の拡大する必要があります。

これら、幼児教育に必要な予算が的確に措置されることを関係機関に強く求めることを宣言します。

平成19年 6月19日

宮城県私立幼稚園教育振興大会

第36回宮城県私立幼稚園PTA連合会研修大会

講演 「子育ては私の学び」

講師 橋本聖子先生（参議院議員）



第2部の研修大会では、参議院議員の橋本聖子先生の講演がありました。

子育てをしながら、議員活動をしている視点からの講演をさせていただきたいと思います。

私なりにイメージしている子育てとは・・・
“オギャ〜”と生まれてくる子供は、真っ白い心と真っ白いスケッチブックを持ってきてくれると思います。

最初の先生であるお父さん、お母さんにしか、その真っ白いスケッチブックは渡せないであろう。

お母さんとお父さんは、その真っ白いスケッチブックを子供からもらい、人生の基本である心というものや人生の下書きを描いてやることができる。

そして、その描いてくれた下書きを持って子供は社会に出て、夢を描き加えて人生の1ページが出来上がっていくのかなって思います。

でも、今、考えてみると、私が子供のスケッチブックにどれだけのデッサンを描いてあげているだろうかと非常に悩んでいるところであります。

本当に、そういうしっかりとした子育てを親がしてあげることができていたとすれば、今、家庭の中で親が子供を子供が親を殺す、兄弟同士がいがみあう、イジメによって自殺をしてしまう、そういうことなどは無くなるではないかなと思います。

いかに、まず最初に触れ合うお母さんが大切なものだということをずっと思って私は、この仕事をしております。

幼児教育というのは大切であります、でも、その前に、血の繋がった子には家庭教育なんだな〜っと思いました。これからの日本というものや地域社会というものは、いかに、その小さな命が求めていた、お母さんの愛情というものが、この国には必要なんだなっと思っております。小さい子供を私自身も今育てておりますが、“オギャ〜”と生まれた瞬間に母親も一緒になって誕生するんですね、そして、毎日毎日が母親としての勉強だなって思っております。

小さい命にお母さんがどれだけの愛情と感謝の気持ちを込めることができるか、それが、この国にかかっている、大切な礎になると思います。

今、子育て支援をやっていて、子育てをしやすい環境を整えることによって、お母さんたちが本当にどれだけ自分の子供に愛情をかけていく時間を考えていかなければいけない、そして幼児教育は大事であります。特にこの時代だからこそ無償化に一步でも近づけるように段階的でもいいからと取組んでおります。



橋本聖子プロフィール

1964年、北海道生まれ。3歳からスケートを始め、冬季オリンピック・サラエボ大会を皮切りに、冬季大会（スピードスケート）4回、夏季大会（自転車競技）3回、あわせて7回のオリンピックに出場する。（女子として世界最多記録）

1995年、参議院議員自由民主党比例区代表に初当選、2001年に再選。北海道開発総括政務次官、参議院文教科学委員長、自由民主党副幹事長、女性局長等を歴任。当選以来、幼児教育の充実、教育問題、環境問題、スポーツ振興、バリアフリーの街づくり等に精力的に取り組んできた。

現職：財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事、幼児教育議員連盟副幹事長、財団法人日本スケート連盟会長、日本知的障害者陸上競技連盟会長、全国体育指導員連合理事、他多数

宮城県私立幼稚園連合会 平成19年度 第1回総会

平成19年 5月25日(金) 午後 1時30分
大和証券仙台支店 4階会議室
参加者105名・委任状提出者59名

挨拶 (要旨)

〔宮私幼 村山十五理事長〕

公務お忙しいところ、私学文書課長宮原様、宮私幼PTA会長渥美巖様等ご臨席賜り感謝申し上げます。

さて、先日の全日私幼総会において、10年位出席して一切の質問事項がない初めての総会でした。来賓として森元総理、麻生前文科相などそうそうたる先生方のご臨席をいただいたが、三浦会長のお力を感じました。その総会の中身ですが、幼児教育の無償化、学校教育法第1条に幼稚園のことが一番先に記載され、教員免許更新等我々を取り巻く情勢はめまぐるしく、このような情勢を踏まえ来るべき参院選には橋本聖子氏を推薦したい。全日私幼の19年度の活動は例年と変わらない。当連合会も少子化の厳しい中、私学文書課長、PTA会長に改めて特段のお願いをいたします。

〔県私学文書課 宮原賢一課長〕

今年度の実態調査がほぼ完了し、約500名の園児減の中、8割の園児が私幼に通っており改めて感謝申し上げます。少子化が進む中で、保護者とのかかわりも多様で難しくなっております。昨年10月に幼児教育振興アクションプログラム、幼稚園と認定こども園の親と子の育ちの場として地域の拠点の施設を理解していただくことが求められております。宮城県におきましても、将来ビジョンとして10年間、子を産み育てやすい環境作りを支援し、適切な保育環境、運営費確保を推進していきたいと考えております。

皆様におかれましても、宮城県の子供たちがすくすく育つようにご尽力をお願いし、ともに宮私幼のますますのご発展をお祈りいたします。

〔宮私幼PTA会長 渥美巖〕

本会が関係皆様方がお集まりの中で盛会裏に開催されますこと心からお祝い申し上げます。



私たちPTAは皆様と一体でまさに両輪であります。本年度のPTAの目標は、1. すべての子供たちのためによりよい環境を作ること、2. 良い親、教師になるために研修を深めること、3. 保護者の負担軽減をはかることであります。私の役目は保護者の負担軽減で、県の予算全体が前年比マイナス2.0パーセント予算に対し、村山理事長さんや私たちPTAが知事に陳情して運営費補助がプラス3.8パーセントの増額があったが、それでも全国下位に甘んじています。そこで、今後とも宮私幼と一体となって中央に行って国会に陳情したり、知事に陳情したりして増額を要望しなければなりません。

また、宮私幼に入っていない園も同じ恩恵を受けているが、より強力な組織にするためにそれらについても何らかの方策を考えなければなりません。

日頃の各園のご努力に敬意を表しながら、本会が実りあるよう祈念申し上げます。

審 議

総会資料参照

第1号議案・第2号議案を審議して承認した。

質疑の中で会費徴収の仕方についての意見があり、理事長より未加入園の問題とともに重要なので今後1、2年かけて検討したい旨の答弁があった。

新園長紹介

現在の楽しみと遊び

友愛幼稚園 川村幸安



私は37年間公立高等学校に勤務した後、専門学校に4年勤め、現在、東北文化学園大学進学センター顧問と園長を兼務している。

6か月余りの幼稚園での生活における観察から発見したことは、幼稚園の生活は「楽しい」ということである。つまり、高校生活などと違って、幼稚園では園児の生活が毎日楽しいということである。それは、「現在が楽しい」ということであり、将来の楽しみや満足のために準備する高校生の我慢の生活とは異なるものである。このことは、私にとって新鮮な驚きであった。

また、園児は園庭や遊戯室など思い思いの場所でよく遊ぶが、遊ばない子どもや遊べない子どももいる。このような子どもは、心身の発達がゆがめられてしまうかもしれないおそれがある。

打算やかけひきなどと切り離された無心で真剣な遊びが、ホモ・ルーデンスとしての思考と行動の基礎を築く。幼児にとって「遊び」がいかに大切かを実感させられている。

どうぞよろしく願います

浄心幼稚園 三宅泰信



4月から、浄心幼稚園の園長に就任しました、三宅泰信です。

浄心幼稚園は、初代園長が泥の中でも美しい花を咲かせる蓮の花を見て、子ども達もこの花のように、どんな中でも「きよらかなところ」で育ってほしいと願い、浄心幼稚園と名づけたと聞いています。

次に就任した前園長が、誕生会のプレゼントとして、絵本に毛筆でメッセージを書き添えてプレゼントしていました。

それを引き継ぐために、私も書道の練習をしていましたが、まだまだ思うようにいきません。

しかし、せっかく書道をしているのだから、子ども達にも書と触れ合う機会を持ちたいと、保育時間内に書道を取り入れました。

初めは、ワープロの毛筆体のような、きちんとした楷書体を書こうと思っていたのですが、子ども達のような形にとらわれない自由な線もいいものだなと思うようになりました。

まだまだ未熟ですが、どうぞよろしく願います。

みんな許しちゃう

利府おおぞら幼稚園 朴澤徳昭



38年間にわたる教員生活を終えて昨年4月から利府おおぞら幼稚園に勤めさせていただいております。今年度からは第二おおぞら幼稚園の園長も兼務ということになりました。ただ子どもたちと一緒に遊べるというそれだけで引き受けた園長職ですが、実際に幼稚園での生活が始まると、毎日が訳の分からないことの連続で、毎日不安を感じながらの1年でした。

子どもたちは可愛いです。でも残酷。最初に子どもたちを前にして話をしようとした時、早速声がかかりました。「〇〇おやじ」と。人権侵害。そんな子どもたちも、園長先生と声を掛けてくれて、一緒に遊んでくれようとする姿に、みんなとてもいい子と人権侵害の言葉も許しちゃう。何でも可愛いから許しちゃうという私の態度は、ひょっとすると先生方からすると、「甘やかして」と迷惑なのかも知れません。今日も職員室に子どもたちが何人か入ってきました。「園長」と呼びつけ、少しむっとする振り。「おはようございます」と元気な挨拶。許しちゃう。こんな調子で園長をしています。

宮私幼事務局 新職員紹介

「よろしく願います」

佐藤恭子



7月から事務局で一般会計を担当させて頂いております。

これまで、一般企業で事務職として11年勤めて参りました。

事務局でお世話になり早一ヶ月が過ぎようとしていますが、書類の書き方一つにしても、これまでとは異なり戸惑う事も多く、時には先輩の温かな叱咤激励!?を背に受けながら、何とか仕事を覚えようと奮闘する毎日です。

事務局は3人体制と少人数ではありますが、笑顔の絶えない明るい職場で安心しております。少々空回りしておりますが私も新任局員として笑顔を絶やさず局内に新しい風を吹き込めるよう、努力して参ります。

最近では、街ですれ違う幼稚園のバスについて眼を奪われたり、理事の方々にご連絡する際、電話の奥で聞こえる園児の皆さんの楽しそうな声に想いをめぐらせ、楽しみながら仕事しております。

まだまだ未熟で、ご迷惑をおかけする事も多々あるかと存じますが、少しでも皆様のお手伝いができるよう、努めて参りますので、ご指導・ご鞭撻の程宜しく願います。

幼 な 子 と と も に

幼稚園訪問記・ふじ幼稚園



〒989-2201 巨理郡山元町山寺字西頭無36-34
園児数156名 5クラス
(年少30名、年中68名、年長58名)

今回訪問した園は、県南は山元町、JR山下駅のすぐ近くにあり、今年3月に園舎を全面改築されたばかりで、木の温もりがいっぱい感じられる園舎のふじ幼稚園にお伺いしました。

昭和53年に開園し、今年で30周年を迎えます。幼稚園を取り巻く環境の変化や地域性を踏まえ、“未来を築くたくましく心豊かな子ども達を”モットーに育ててまいりました。節目のこの年に園舎を全面改築するにあたり、成長期の子どもの心と体に優しい配慮、環境設定を第一に考えました。今後も教育内容の充実を計り、地域に根ざした幼稚園、卒園生にとっても心のふるさとなれるような幼稚園をめざしていきたく考えています。



園長 鈴木信子先生

ふじ幼稚園では

- 教育時間
月～金曜日までは、9:00～14:00となります。
- 預かり保育
月～金曜日まで、14:00～16:40時まで、また、長期休業中は、8:30～16:30まで行っております。
バス利用園児はバス送迎もあります。
- 給食
月、水、金曜日は給食となり、火、木曜日はお弁当になります。また、水曜日は地元のパン屋さんのパン食になります。
- 特色教育
4、5歳児は鼓笛隊を通して音楽の楽しさを知り音楽好きな子どもを育てる。子どもエコクラブの活動。年長児は、「ふじクラブ」(絵画・音楽リズム・ことばの3クラス)の活動を一年間実施し、子どもたちの自信へ繋げ、何事も意欲的に取組める子どもになってほしいと考えています。

<園舎を新しくして・・・>

開園30年目に全面改築するにあたり、設計の段階から木の温もりをふんだんに感じることができるよう配慮しました。また、保育室の照明機器にはマイナスイオン発生装置も設けてあり、リラックス効果があるようです。木肌が美しい保育室は、滝や溪流近くの森での森林浴に近い効果が得られるかもしれません。

更に、ホタテの殻を使った壁等にしたり、自然の素材をたくさん利用しています。

<通ってくる子どもたちは、この地域に住んでいる子が多いのですか？>

地域環境の変化に伴い、山元町からだけでなく、最近では車で10分程の巨理町の子どもたちが増えました。当地域は降雪による道路渋滞も少ないので予定時間での園バス送迎が可能です。ただ、バスの運行範囲は、面積で表せば広範囲になってきたと言えます。



<特に力の入れている教育等がありましたらお聞かせください>

本園では幼児期の発達段階と特質に適した教育として、ことば、体育、表現に力を入れた保育を行っております。遊びを通した楽しい指導でいろいろなことを経験させ、小さな芽を育てながら、集団の中でのルールを身につけた心の豊かなたくましい子どもに育てたいと努力しています。そして、保育の目標として次の三つを掲げております。

- ・げんきなこども
- ・がんばるこども
- ・おもいやりのあるこども



緊急地震速報って？

(平成19年10月1日一般向けサービス開始)

気象庁は10月1日、大きな揺れが来る直前に予想震度を伝える「緊急地震速報」の一般向け本運用を始める。7月16日に発生した新潟県中越沖地震では、既に配信を受けている鉄道事業者が受信直後に列車の運行を一時停止するなど、実際に活用された。

緊急地震速報は、早く伝わる地震の初期微動(P波)を震源近くでとらえ、強い揺れ(S波)が始まる前に予想震度を知らせる仕組み。

新潟県中越沖地震では、P波を検知した約3.8秒後に第一報を発信。震度6強の新潟県長岡市では3秒、長野県飯綱町では16秒の猶予があった。

本運用が始まる10月以降、NHKはテレビとラジオで速報を放送する。携帯電話大手三社は、速報を携帯に配信するシステムを開発することを明らかにしております。

最近、幼稚園にも緊急地震速報受信装置の販売に関する各社からのDMも増えてきたようですが、PCと組合せた装置や受信装置単体で稼動する物等、価格も利用料金もまちまちのようです。

また、震源地と受信位置との距離により時間が異なってきます、直下型の地震では地震速報と同時に揺れることになるようで、導入に際しては、まだまだ検討課題も多いのかもしれない。



(宮城県の状況)

宮城では仙台市のユーザーが約16秒前に警報を受信。ただし多くのユーザーはまだ様子見の段階で、積極活用するには自社システムとの連動など検討課題も多い。

「宮城県沖で地震発生。宮城県南部地方に今から19秒後以降に震度5弱程度の地震がきます」——。2005年8月16日、宮城県沖で最大震度6弱の地震が発生した際、仙台市の国土交通省東北地方整備局は気象庁からの「緊急地震速報」を受信している。

「モンスターペアレント」って知っていますか？

保護者の理不尽なクレーム、専門家による支援検討 文科省

理不尽な要求で学校現場を混乱させる保護者ら、いわゆる「モンスターペアレント」について、文部科学省が来年度から、本格的な学校支援に乗り出す方針を固めた。地域ごとに外部のカウンセラーや弁護士らによる協力体制を確立し、学校にかかる負担を軽減することを検討している。来年度の予算要求に盛り込みたいと考えて、各地の教育委員会にも対策強化を求める。

文科省が検討している支援策は、保護者から理不尽な要求やクレームが繰り返された際、教育専門家ら外部のカウンセラーが保護者と学校の間に入り、感情的なもつれを解消して問題解決を図るといったもの。

保護者とのトラブルが法的問題に発展するケースもあるため、学校が地域の弁護士からアドバイスを受けられるような協力体制づくりも進める。地域ごとにカウンセラーや弁護士らの支援チームを結成することも検討する。

教育現場では近年、無理難題を押しつける保護者らが急増。こうした保護者らは「モンスターペアレント」と呼ばれ、校長や教員が話し合いや説得に努めてきた。しかし感情的なもつれなどから問題解決がこじれ、学校にとって大きな負担になることが少なくないという。

モンスターペアレントについては今月初めの副大臣会議でも取り上げられ、文科省の池坊保子副大臣が早急に対策に取り組む姿勢を示していた。

文科省幹部は「学校が一部の保護者らの対応に追われて、子供たちの教育活動に支障が出るようになったら本末転倒。各教委が率先して対応に乗り出す必要がある」としている。

助成金の増額要望

気仙沼私立幼稚園連合会



気仙沼私立幼稚園連合会は、昨年の12月に、市内の私立幼稚園に対する市の助成金増額を求める陳情書を鈴木昇市長と市議会に提出した。

この陳情には、気仙沼私立幼稚園連合会の白井会長のほか、連合会に加盟する市内5つの幼稚園（愛耕・気仙沼カトリック・九条・葦の芽星谷・葦の芽）関係者、それに市議の白井真人氏、熊谷伸一氏、昆野牧恵氏の3名の方々にも出席していただいた。

陳情書では、少子化の進行で園児数が減少し続け、私立幼稚園の経営は極めて困難な状況であると述べ、市の幼児教育助成金について、一園あたり二十五万円（現状十二万円）、園児一人当たり二千五百円（現状千三百円）への増額を要求した。

このほか、園児の健診料などに対する市の措置、合併で新たに加わった唐桑地区の公立幼稚園と私立幼稚園の入園料、保育料などの格差改善も合わせて求めた。

また、気仙沼市は助成金が県内で最低レベルであることを指摘し、健診も個別の幼稚園では対応しきれないと訴えた。

これに対し、鈴木市長は、「厳しい財政状況や行革への理解を求めながら議会と相談し、よく検討したい」と話された。

この結果、今年度は一園当たり三万円の増額をしていただいた。今回は昨年度の陳情時期が遅かったため、要望額には満たない結果ではあったが、今年度は早い時期に積極的に市に働きかけていきたい。

橋本聖子先生へ推薦状



去る6月19日宮私幼PTA研修大会の講演終了後に県民会館応接室にて、宮私幼連および対策協議会より橋本聖子先生へ推薦状を手渡した。

【表紙によせて】

ふじ幼稚園

編集後記

第125号をお届けします。

今年は暑い夏になりそうだとの予報に期待する反面、地球の温暖化が心配される昨今です。未来からの使者である子どもたちに、安心できる未来を保証するのが私たちの役目だと自覚し

なければなりません。毎日毎日、子どもたちの無邪気に遊ぶ姿から、私たち大人が学ぶべき事が多いのではとつくづく思う今日この頃です。

(片岡大助)